

当時の学童の勤労奉仕標準ノルマ表

石川県教育史

項目	ノルマ量等	記事	備考
松根油	全国計百万 KL	20年度海軍用 5055KL 陸軍は 0	艦上機満タン 1200L
塩	ノルマ不明	高松小学校 5 間×10 間を 2 面	南出の浜に約 100 坪
ドングリ	不明(代用食)	河北郡山手の小学校で収集した。	70 万貫 (2630 トン)
金属ボタン	ノルマ不明	金沢市で 50 万コ収集された。	学生服の金ボタン等
海藻	不明(爆薬用)	羽咋郡以北の小学校で収集した。	1072 貫 (4020 kg)
干し草	200 貫(軍馬用)	小学校 4 年以上の一人当たり量	石川県 63,750 トン
ヒマ	5 本植え 5 合	小学校 3 年以上の一人当たり量	マシン油一人当たり 0,9L
カボチャ	10 本植 10 貫	小学校 5 年以上の一人当たり量	石川県 合計 40,6 万本
カボチャ	20 本植 20 貫	小学校高等科の一人当たり量	石川県 合計 110 万貫
カボチャ	10 本植 10 貫	中学校男 5 から 10 女 3 から 5	(4, 125, 000 k g)
桑皮からむし	代用繊維軍服用	山間地小学校すすきの穂の利用可	軍用繊維工場向け

注、干し草は三日間で 200 貫のノルマである、(小学校は当時、国民学校と呼ばれていた。)

国民学校発足昭和 16 年 4 月の基準年齢			陸海軍兵制度等による	
当時の学制	生年	満年齢	兵役等	記事
国民学校 1 年	昭和 9, 10	6	石川県青少年勤労報国隊 原則 5 年生以上とするが 4 年生以下も幼年部とする。 土曜、日曜を充て一日 3 時間以上 軍事訓練以外は授業停止、	県知事が隊長
国民学校 2 年	昭和 8, 9	7		河北郡隊数 42
国民学校 3 年	昭和 7, 8	8		河北郡隊員数
国民学校 4 年	昭和 6, 7	9		4, 885 名
国民学校 5 年	昭和 5, 6	10		末期は勤労動員
国民学校 6 年	昭和 4, 5	11		末期は勤労動員
高等科 1 年、中 1 年	昭和 3, 4	12	派遣将校制度、満蒙開拓団	軍需工場勤労動員
高等科 2 年、中 2 年	昭和 2, 3	13	陸軍幼年学校、満蒙開拓団	軍需工場勤労動員
中学校 3 年	昭和 3, 4	14	少年戦車兵、少年通信兵	軍需工場勤労動員
中学校 4 年	昭和 2, 3	15	予科練、海兵団	軍需工場勤労動員
中学校 5 年	昭和 1, 2	16	士官学校、兵学校	軍需工場勤労動員

略称、満蒙開拓団 (満蒙開拓青少年義勇軍) 高等科卒業後入隊のため高等科 2 年担当教師に候補者割当てノルマがあつた。

石川県青少年勤労報国隊は 昭和 19 年 7 月学徒隊と改称 至誠尽忠、決戦態勢確立
校長・隊長 教頭・副隊長 学級担任・小隊長 隊付・看護婦、小使、給仕
防空訓練 (防空壕掘り、飛行機爆音で機種判別、(B 29 と日本機、単発、双発)
通信訓練 (高等科モールス信号電鍵、手旗信号)